

栃木



宇都宮支局
〒320-0027
宇都宮市塙田
1-3-9

☎ 028-621-3611
FAX 028-650-1559
utsunomiya@
sankei.co.jp

広告 028-622-5591
購読申し込み
0120-70-3034

配達・集金
0120-34-4646
紙面・記事
0570-046460

Web
[http://www.sankei.com/
region/region.html](http://www.sankei.com/region/region.html)

あすのこよみ

(30日)
旧5月26日
《赤口》



月齢	25
日出	4:25
日入	19:03
月出	0:53
月入	14:19
満潮	{	12:57
	{	23:58
干潮	{	6:19
	{	17:50
若潮	(大洗)



黒川雄三さんがスケッチした約30年前の東武日光線北鹿沼駅。描かれた木造駅舎は現在姿を消した。「なつかしい栃木の停車場」より

消えゆく木造駅舎 水彩画で伝える

「なつかしい栃木の停車場」出版

県内の鉄道全路線127の駅舎を水彩画で描き、駅にまつわる歴史とその感想を川柳でつづった「なつかしい栃木の停車場」が出版された。改装されて今では姿を消した風情ある木造駅舎のかつての様子が伝わる貴重なスケッチもある。



著者は鹿沼市で薬局を営む薬剤師の黒川雄三さん(80)写真。黒川

県内全路線127の駅舎が丹精な水彩画で描かれ、JRはもちろんのこと、東武線、野岩鉄道、真岡鉄道、わたらせ渓谷鉄道の各駅も網羅した。黒川さんは過去と現在の駅舎の変わりようも描いてみようと思ったが、かつて木造で風情があった駅舎もアルミサッシに囲まれた温もりを感じないものになってしまっていて、「いわゆる停車場風景を描いて良かったと実感した」という。

さんは、とりわけ「鉄ちゃん」と呼ばれるような鉄道ファンではない。駅舎を描くきっかけとなったのは、約40年前、旅行先で木造駅舎の取り壊し現場を目にし、「まだ壊されていない県内の古びた駅舎もやがて…」と、スケッチとして残そうと思っただけという。それから休みの日に車で県内を駆け回り、3年前まで描きためたものを今回、出版した。

川柳を趣味にしている黒川さん。これまでも「川柳 知って重宝」シリーズと銘打ち、薬局の客から受けた健康に関する相談などを、川柳とイラストを絡ませて書いた本を4冊出版している。「なつかしい栃木の停車場」はA5判248頁、2160円。問い合わせは、かぬまっこの出版 ☎0289・62・4141。